



薬小っ子スの
当たり前
の当たり前

薬師寺小だより

平成30年10月
下野市立(2号)
薬師寺小学校長
鈴木一恵



自分のことは
自分でする

やさしく



テレビやゲームの
時間を決める

かしこく



家族と一緒に
正しい食習慣

たくましく

意欲に満ちて後期スタート!

10月5日前期終了の日、児童一人一人に担任から「学びの姿」が手渡され、学習や生活の成果をお伝えしました。お家の方からも励ましのお言葉を頂き、10月9日は学校中が意欲に満ち溢れた後期スタートの日となりました。

各学年の掲示板には後期の目標が掲示されました。3年生掲示板には前期反省と後期目標が対比して掲示されていました。例えば前期は「リコーダーが吹けるようになりました。」「わり算を頑張りました。」など。後期は「分からない漢字は練習して覚えませす。」「理科の観察に一生懸命に取り組みます。」など。

中学年になりますと自分自身の姿を見つめられるようになりますので自主性を大切に伸ばしていきたいものです。どの学年も後期の成長が楽しみです。

1年間の折り返し地点となる集会では代表児童が堂々と作文を発表しました。



児童代表の作文(2年生)



「ぜんきががんばったこと、こうきががんばりたいこと」

ぼくたち2年生は、せいかつかのペンきょうでまたんけんにいきました。

ぼくは、そのときにリーダーをやりました。とてもきんちょうしましたが、だんだん慣れてきて、おちついてリードすることができました。いえではなしたら、「がんばったね。」

といわれてうれしかったです。

こうきには、いよいよかけざんのペンきょうがあります。ぼくは、さんすうがとくいですがかけざん九九はむずかしそうなので、先生のお話をよくきいてしっかりけいさんれんしゅうして、もっととくいになりたいたいとおもいます。

児童代表の作文(4年生)



「前期を振り返って」

4年生になって、校外学習、日光への遠足、運動会とたくさんの行事がありました。その中で、とくにがんばったことは、運動会のリレーの選手です。

今年初めて、リレーの選手に選ばれました。リレーの選手に選ばれたときは、嬉しい気持ちでいっぱいでした。本番は、とてもきんちょうしたけれど、友達や家族が応援してくれたおかげで、最後まで全力で走ることができました。

後期に頑張りたいことは、授業に集中し、発表をたくさんすることです。また、自主学習にも力を入れ、積極的に取り組んでいきたいです。

「勇気」と「自信」でめあてに挑戦

9月27日「文化芸術による子供育成事業(文化庁)」が本校体育館で催され、福岡県の劇団「ショーマンシップ」によるミュージカル『ノートルダム物語』を鑑賞しました。

前日から来校して準備された本格的な舞台装置と迫力ある演技に魅了されました。劇中には代表児童も出演し名演技を披露しました。拍手喝采でした。

主人公の「カジモト」(ノートルダム大聖堂の鐘つき男)が悲しい生い立ちや苦難を乗り越えて正義を貫き強く生きていくというストーリーを通して「正しいことを貫く勇気」と「自分を信じる力」を育むことができました。劇中歌の『勇気自信』のメロディーが心に響きました。



ノーベル賞受賞の陰にも「勇気」と「自信」が

10月5日に日本人がノーベル医学生理学賞受賞というニュースが飛び込んできました。受賞された本庶佑(ほんじょたすく)先生が受賞インタビューの中で「勇気」と「自信」を大切にできたというお話しをされていたので、1年間の節目の集会で次のような話をしました。

前期に1年生は93日、2~6年生は94日登校しました。よくがんばって登校しましたね。暑い日もたくさんありましたね。運動会の練習も暑かったね。でもみんな、諦めないで最後までがんばったのでとてもいい運動会になりました。みんなで植えた花壇の花も元気に咲き続けています。みんなと同じように頑張っているのですね。(子ども達は大きく頷いていました。)

途中で諦めないで最後まで頑張ると、清々しい気持ちで「節目」という日を迎えることができます。今日は前期終了という節目の日です。みんなも先生も本当に気持ちのよい節目の日となりました。

ところで数日前に日本にとっても嬉しいニュースがありました。それはノーベル賞を京都大学の先生をしている本庶佑(ほんじょたすく)さんという方が頂いたというお知らせでした。本庶先生はお医者さんです。でも病院で患者さんを見るお医者さんでは無く、基礎研究といって難しい病気に効く薬を何十年も研究していた方です。その薬はガン細胞を押しやるために、免疫力という自分の体の力を利用するお薬で、世界中の患者さんが待っていた薬です。オプジーボといいます。もう日本でも200人以上の人が助かっているそうです。

本庶先生は76才になるそうですが、「何十年も諦めないで最後まで頑張って研究を続けてきてよかった。」とお話しされていました。さらに、

「難しいからといって逃げない『勇気』と、自分の考えを正しいと信じる『自信』を大切にできた。」

ともお話しされていました。

あれ、どこかで聞いた言葉ですね。そうですね、この間の「ノートルダム物語」の歌ですね。

本当に「勇気」と「自信」は夢や願いを叶えてくれるのですね。

後期も学校祭や持久走大会があります。お勉強も次の学年に向けて難しくなりますが自分のめあてを決めて、「勇気」と「自信」をもって最後まで諦めないで頑張ることを約束してください。

「立腰タイム」で心もシャキッと!

「立腰」というちょっと聞き慣れない言葉ですが、南河内中学区では小中一貫教育の一つとして、後期から朝の読書活動の前に「立腰タイム」を実施することになりました。



「立腰」とは哲学者・教育者である森信三先生が提案されました。腰骨をいつも立てて、曲げないようにすることが、自己の主体性の確立や人間形成につながるというものです。

～立腰の効果～

- ◎やる気が起こる
- ◎集中力がつく
- ◎持続力がつく
- ◎行動が俊敏になる
- ◎内蔵の働きがよくなり、健康的になる
- ◎精神や身体のバランス感覚が鋭くなる
- ◎身のこなしや振る舞いが美しくなる



一度経験し、持続すれば、当たり前のように身につく、生き方の基盤として、子ども達の一生の宝となることでしょう。とても簡単ですので、家庭学習や食事の前など、御家庭での実践もお薦めします。

～立腰実践のポイント～

1. 両足をしっかり床に付ける。
2. お尻を後ろに引き、腰骨（骨盤）をぐっと前に出す。
3. 両手を太ももの付け根のあたりにのせる。
4. 姿勢を保ち、肩の力を抜いて静かに目を閉じる。（1分間）

避難訓練（不審者対応）を実施

10月10日下野警察署スクールサポーターの御指導による不審者侵入の際の避難訓練を実施しました。3年2組に不審者が侵入という想定で学校全体への連絡方法や関係機関への通報、児童の安全確保等を訓練しました。



訓練後には体育館でスクールサポーターの方から不審者に遭遇した際の身のかわし方や「いかのおすし」の活用についての話を聞きました。中でも「学校の先生はみんなの命を守ってくださる人です。だから先生の話はしっかりと聞かなければいけません。毎日が避難訓練です。」のお話に子ども達は大きく頷いていました。お子さんの大切な命を預かる教育現場で働く私たちも身の引き締まる思いでした。

「子どもを守る家」に御挨拶

本校学区には23軒の「子どもを守る家」があります。安全ボランティア様と同様に登下校や帰宅後の安全を見守って頂いています。心から感謝申し上げます。10月10日には子ども達が御世話になっているお家を1軒1軒訪問させて頂きました。これからもどうぞ宜しくお願い致します。危険箇所や不審者情報、子ども達の様子などでお気付きのことは御連絡下さい。

スポーツの秋 芸術の秋 子ども達の可能性も開花

秋も深まり何をするにも心地よい季節となりました。校庭では、散りゆく落ち葉を踏みながら、休み時間は元気いっぱい外遊び、体育の時間は持久走大会に向けての練習、そして放課後は、下野市陸上大会に出場する選手たちが一生懸命練習しています。張り切っている子ども達を見てると11月1日が秋晴れの大会日和であることを願わずにはられません。お迎えの保護者の皆様にもお世話になります。

楽しい！キンボール熱が急上昇！！



10月6日には南河内地区スポーツ大会が開催されました。昨年から小学生のキンボールも種目となり、南河内体育館で熱戦が繰り広げられました。

本校からは「薬小ボンバーズ」（5・6年生6名）が参加し3試合行いましたが、疲れも見せず、試合の度にどんどんチームワークがよくなり、技にも磨きがかかるので感心しました。冬のカンピくんカップでの活躍も楽しみです。



10月16日には6年生が小学校最後の親子レクでキンボールを実施しました。6年生は4年生の時にも親子レクで実施していますので、馴染みのあるスポーツ。お子さんの成長ぶりに喜びを感じながら、楽しく対戦することができたことでしょう。保護者だけの試合もあり、爽やかな汗を流していました。よい思い出ができましたね。

心癒やされるオカリナの音色に夢中!

10年近くも前になりますが勤務した学校の全校合奏にオカリナを取り入れたところ、子ども達の奏でる音色の素晴らしさに感動しました。ぜひ薬師寺小にも「オカリナの音色を響かせたい」と思いましたが、やっと今年、実現することができました。



「グリムオカリナクラブ」の皆さんに6月から来校してもらい、優しく丁寧に、たくさんの褒め言葉を頂きながら、練習を進めています。

「好きこそ物の上手なれ」という言葉がありますが、「やりたい!」と思って参加してきた子ども達の意欲と上達の素晴らしさには目を見張るものがあります。十数年吹いている私も子ども達の音色にはかたがた感動しています。子ども達の純粋な心に感動しています。

4～6年生の15名が学校祭の発表を目標にして毎日練習しています。6年生が下級生に教えられるようにもなりました。きっと1年生にも喜んでもらえる曲ですので全校生の心が一つになると思います。

この先もメンバーが増えて、本校の「特色ある活動」の一つとして、薬師寺小や地域を彩り潤してくれることを心から願っています。

